

報道関係者各位

2024年10月1日
九州高圧株式会社

「再エネ 100 宣言 RE Action」への参加と

「LP ガス容器廃棄に係る CO2 排出量のオフセット実施」に関しまして

九州高圧株式会社（本社：鹿児島県南九州市、代表取締役社長：山田 拓也）は富士瓦斯株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：津田 維一）の環境コンサルティングを受け、鹿児島県内のサービス業で初めて「再エネ 100 宣言 RE Action」（※1）に参加いたしました。鹿児島県内では4番目、南九州市では初の参加となります。

「再エネ 100 宣言 RE Action」は、再生可能エネルギーによる電力消費を100%にすることを目指す枠組みで、日本全国の自治体や企業、386 団体（※2）が参加しています。また、年間消費電力量が50GWh以上の企業を対象とした国際イニシアティブ「RE100」（※3）と連携しており、国内外の団体が再生可能エネルギーの導入を推進することで、気候変動対策に貢献し、持続可能な社会の実現を目指すことを目標としています。

当社では従来から、環境への取り組みとして太陽光発電による自家発電や、Scope 1 および 2（※4）における CO2 排出量をホームページで開示しています。（※5）また、主力事業である LP ガス容器再検査では、富士瓦斯株式会社のカーボン・クレジット調達手配からカーボンオフセット、さらにプロモーションサポートまでをトータルで支援する FCN プラットフォーム（フジガス・カーボンニュートラルプラットフォーム（※6））を活用し、お客様へのサービスメニューとして作業工程から配送に至るまでに排出される CO2 排出量をカーボンオフセットした「CN（カーボンニュートラル）再検査容器（※7）」を提供しています。さらに当社は健康経営優良法人 2024、事業継続力強化計画の認定も取得しており、持続可能な事業所の実現を目指しております。

そして今回、新たに FCN プラットフォームを利用して LP ガス容器の廃棄処理により排出される CO2 のカーボンオフセットを実施しました。2023 年 8 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日までの約 2 万本の LP ガス容器廃棄処理から発生する CO2 を地元である、『かごしまエコファンド「みな、みりよくある南九州 緑あふれる街エコプロジェクト」（※8）』により創出されたカーボン・クレジットを 30t-CO2、国が認証する省エネ由来の J-クレジット 56t-CO2 を活用し、計 86 t-CO2 の削減を実施しました。

今後、年間の使用電力量約 17 万 kWh について再生可能エネルギーを積極的に導入し、2030 年までに「再エネ 100%」にすることを目指します。
再エネ経営を推進することで、事業活動全般における CO2 排出量の削減、および取引先の CO2 排出量削減に寄与し、LP ガス業界のみならず、社会全体への CO2 削減に貢献して参ります。

※1：再エネ 100 宣言 RE Action

(<https://saiene.jp/>)

※2：2024 年 8 月 26 日現在

※3：国際イニシアティブ「RE100」

(<https://japan-clp.jp/climate/reoh>)

※4：資源エネルギー庁スコープ 1, 2 解説

(<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/scope123.html>)

※5：九州高圧株式会社 CO2 算定ページ

(<https://kskbonbe.co.jp/co2/>)

※6：フジガス・カーボンニュートラルプラットフォーム

(<https://www.fujigas.com/fcn/#fcnlpg>)

※7：カーボンニュートラル容器再検査 (CN 容器再検査)

(<https://kskbonbe.co.jp/wp-content/themes/ksk/assets/images/co2/carbon.pdf?v=2>)

※8：かごしまエコファンド

(<http://kagoshima-ecofund.jp/>)
